

吉田半文の助よすけ 史論家。生没年不詳。字純齋。號勿來、勿來處士。
 著書『濟民記』(明治二十四年十一月)(白民友社)、『王安石』(明
 治二十六年六月)(白民友社)、白書『野餘忠烈餘方』(編、明治二十七年
 六月)(白民友社)、『大僧止慈隆』(飯塚清通共編、明治二十七年十
 一月)(二十七年野餘刊)、『讀史感』(吉田勿來名、明治二十九年七月
)(二十八日嵩山房)、『唐詩絕句』(同、編、明治四十一年六月)(白民
 友社)、『風月餘情』(同、明治四十一年七月)(白文泉堂書店・服
 部書店)等。

